

朝鮮通信使と名古屋
-江戸時代の善隣交流-

「朝鮮通信使」世界記憶遺産に登録

江戸時代の日本と当時の朝鮮王朝との間で200年以上続いた「朝鮮通信使」に関する文献、絵図が昨年10月、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の「世界の記憶」(世界記憶遺産)に登録された。政府推薦の案件ではなく、民間主導で取り組んできた運動が世界に認められた背景には、現代にも問える大きなテーマが横たわっていた。

【森忠彦、写真も】



学ぶべき「200年の平和」

「朝鮮通信使ユネスコ記憶遺産日本学術委員会委員長」を務めた京都造形芸術大学客員教授の仲尾宏さん(81)に登録の意義を聞いた。

——「朝鮮通信使」の知名度が低かったのはなぜですか。

日本にすれば、日本史ではありながら、相手が朝鮮というところに関心の薄さがあったのだと思います。研究者は戦前からいらないわけではなかったのですが、朝鮮半島在任経験のある人が調べていたのが大半で日本での研究は少なく、さらに韓国側は遅れていました。韓国における日本との関係史はまずは豊臣秀吉による壬辰・丁酉の倭乱(文祿・慶長の役)であり、次には日韓併合後の「日帝36年」が主要テーマで、その間の江戸時代、朝鮮王朝後期についての関心は薄かったのです。

もう一つ、間違った理解もあ

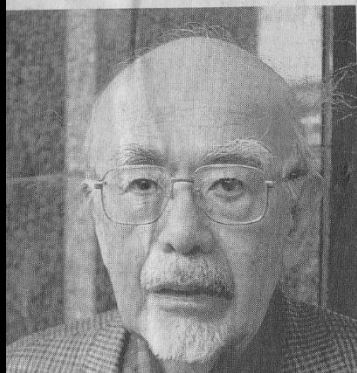
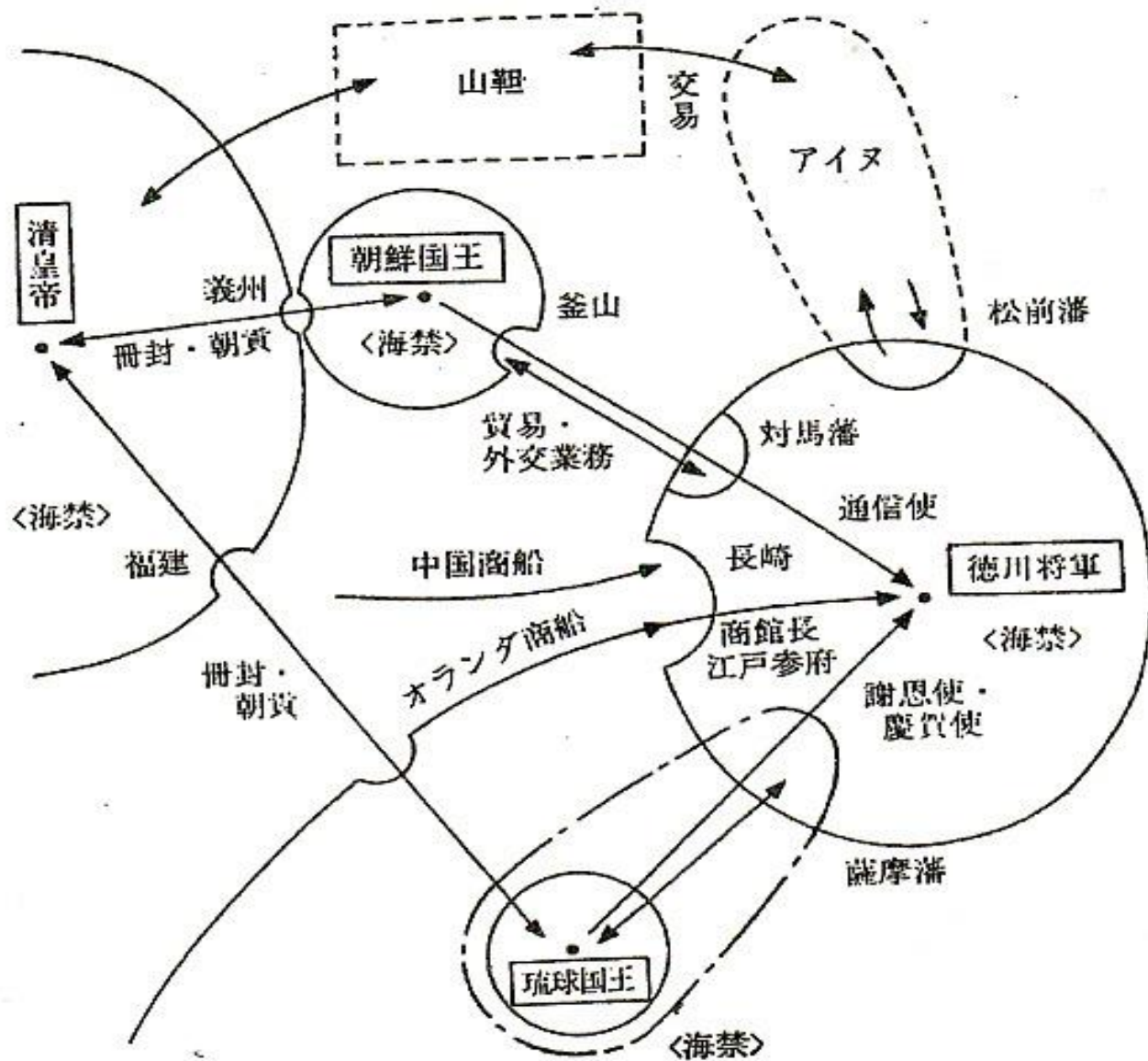


図1 18世紀ごろの東アジアの国際秩序（概念図）



文政十三年
庚寅六月



丹羽郡多加木村
新田若一者





奏使日本時間見録
若松 實・譯
江戸時代第四次(寛政)朝鮮通信使の記録

扶桑録
李 讓 撰
若松 實・訳
江戸時代第二次(天和)朝鮮通信使の記録

丙子日本日記
若松 實・撰
若松 實・譯
江戸時代第四次(寛政)朝鮮通信使の記録

扶桑
明 謝 若松 實・譯
江戸時代第四次(明暦)朝鮮通信使の記録
下

東槎録
若松 實・撰
若松 實・訳
江戸時代第四次(寛政)朝鮮通信使の記録

海槎日記
書英・筆
若松 實・撰
若松 實・訳
江戸時代第四次(寛政)朝鮮通信使の記録

海槎日記
若松 實・撰
若松 實・訳
江戸時代第四次(寛政)朝鮮通信使の記録

海槎日記 酬唱録編
若松 實・撰
若松 實・訳
江戸時代第四次(寛政)朝鮮通信使の記録

日本往還日記
若松 實・撰
若松 實・訳
江戸時代第四次(寛政)朝鮮通信使の記録

海槎録
慶 七 松・著
若松 實・訳
江戸時代第一次(慶長十二年)朝鮮通信使の記録

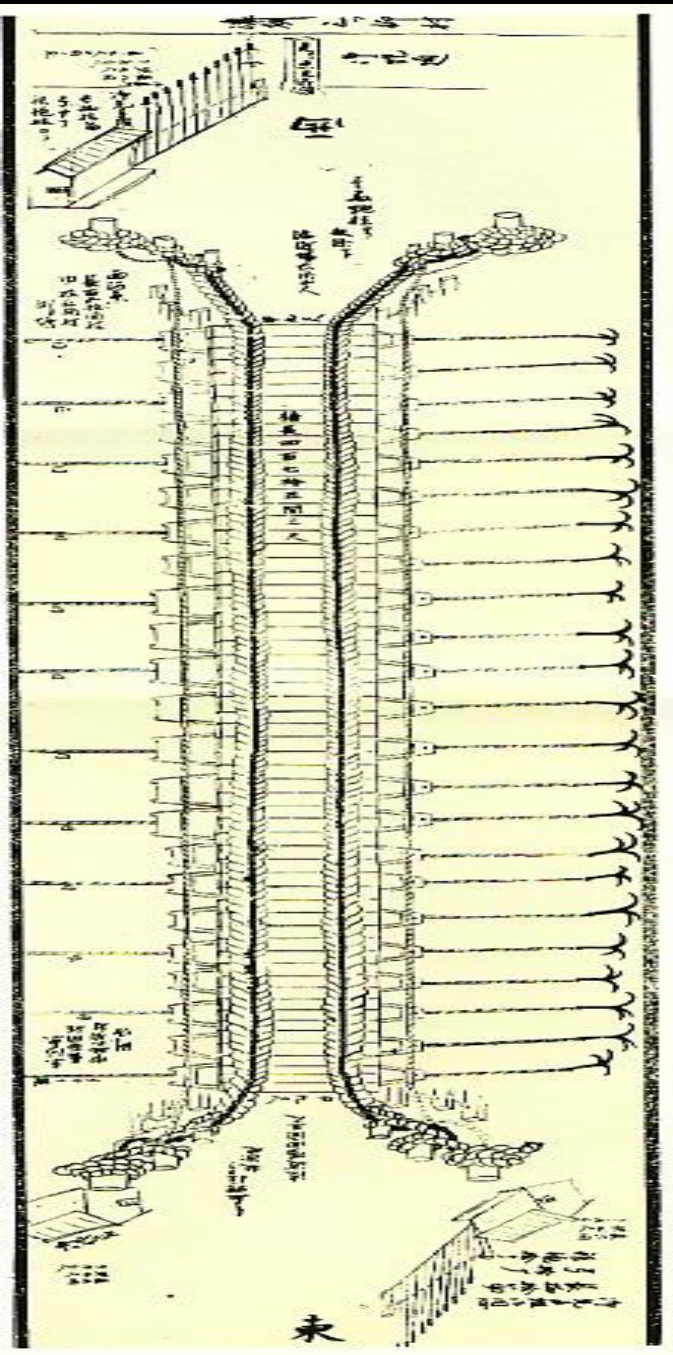
東槎上日記
若松 實・撰
若松 實・訳
江戸時代第二次(元和)朝鮮通信使の記録

癸未東槎日記
若松 實・撰
若松 實・訳
江戸時代第二次(元和)朝鮮通信使の記録

越川舟橋



▲越川舟橋（越路地区，部分） 院国国文中央博物館



末

禪源寺





美濃路

至稲葉

五条川

中堀

町屋

外堀

外堀

中堀

本丸

町屋

五条川

外堀

町屋

町屋

町屋

美濃路

至名古屋

50M

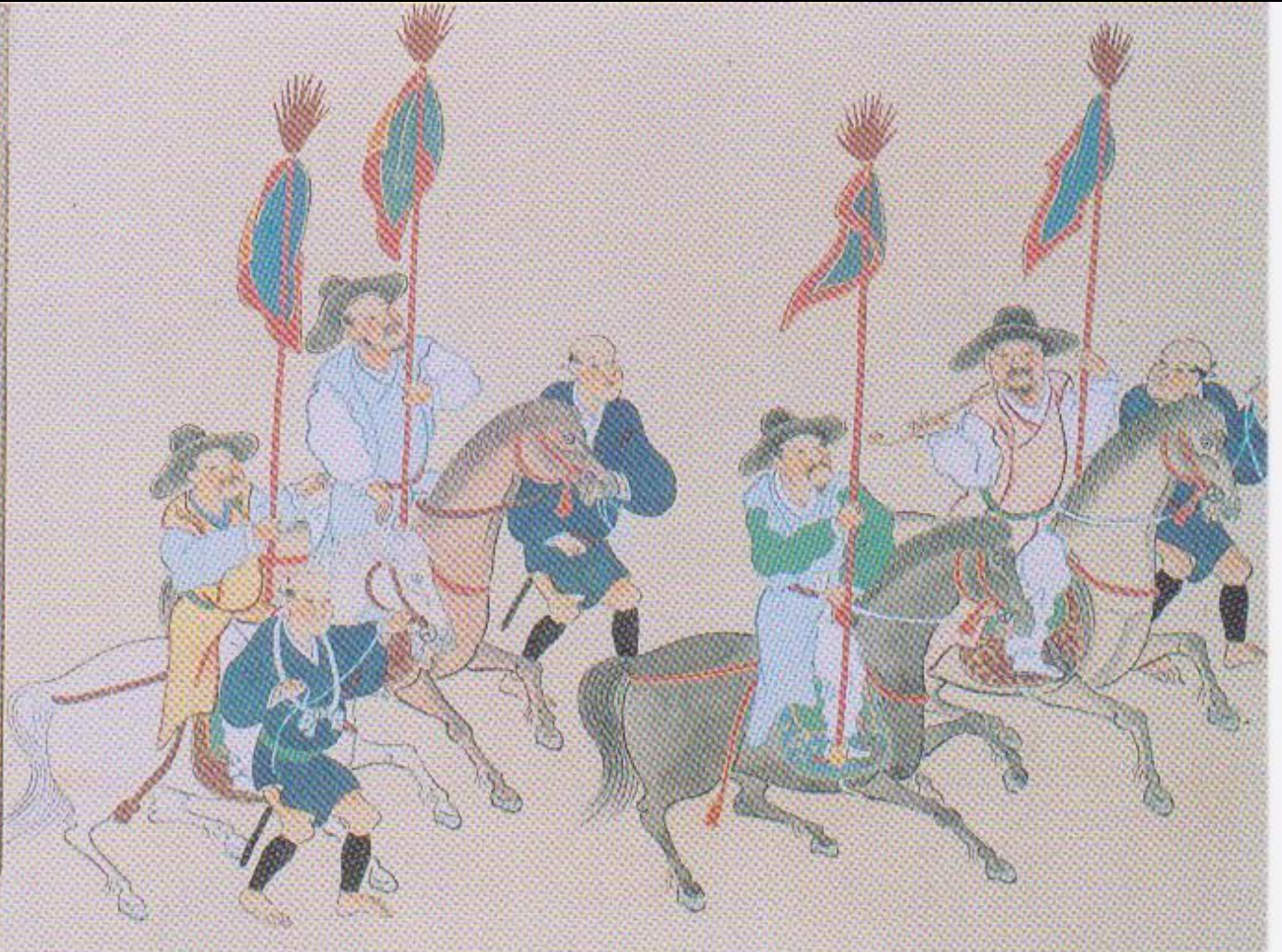


崇覺寺本朝鮮通信使繪卷屏風仕立図

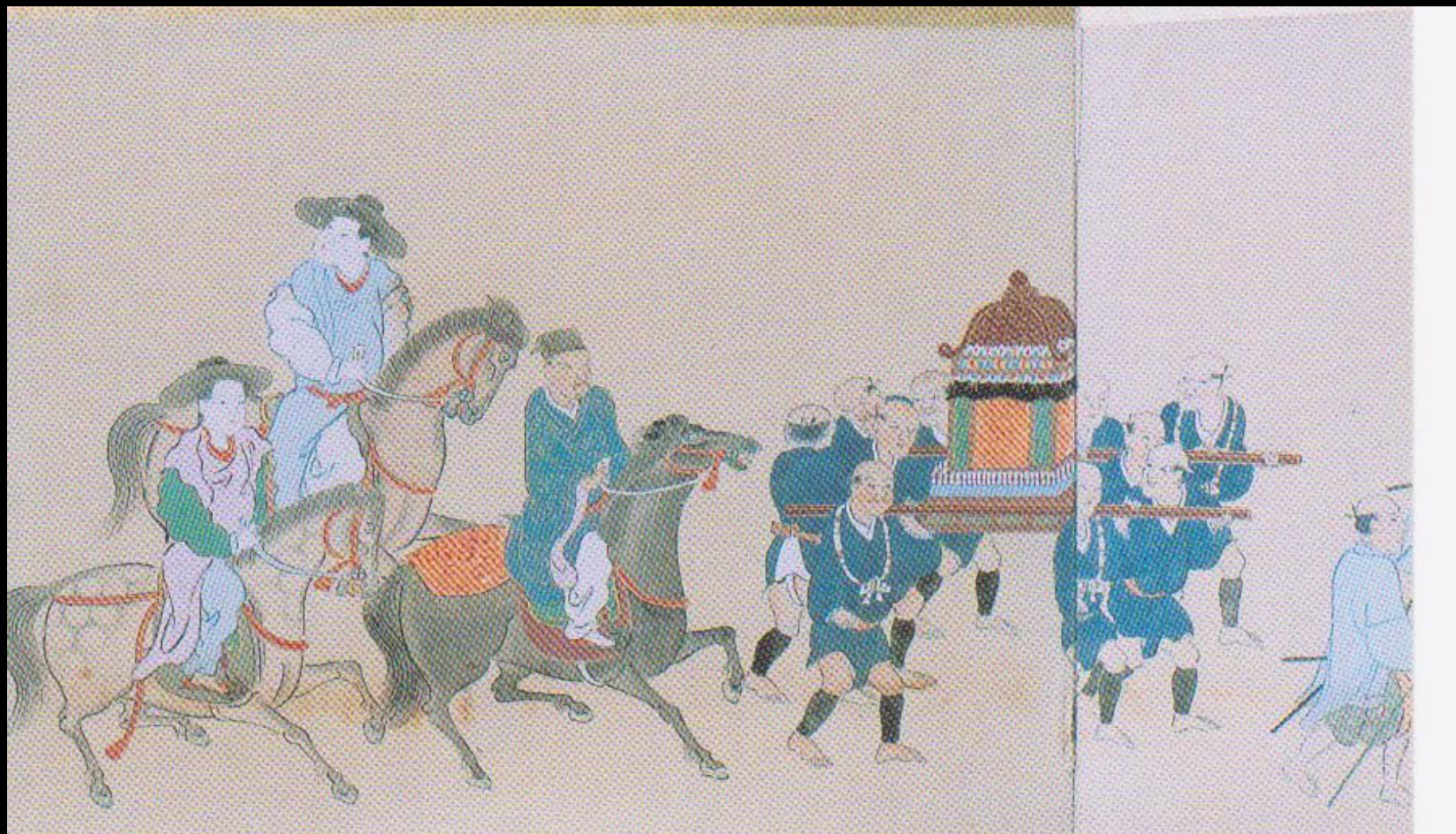


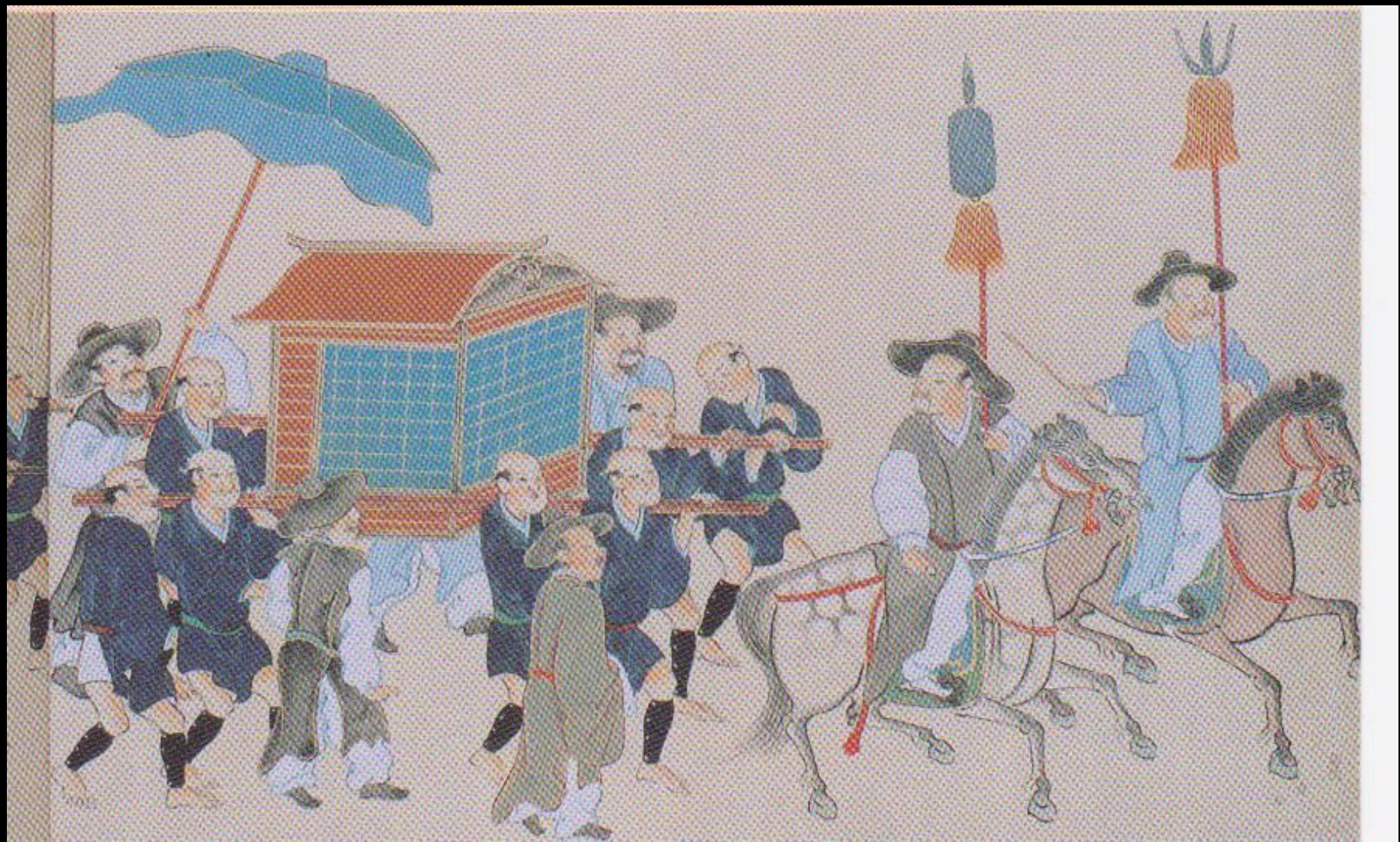


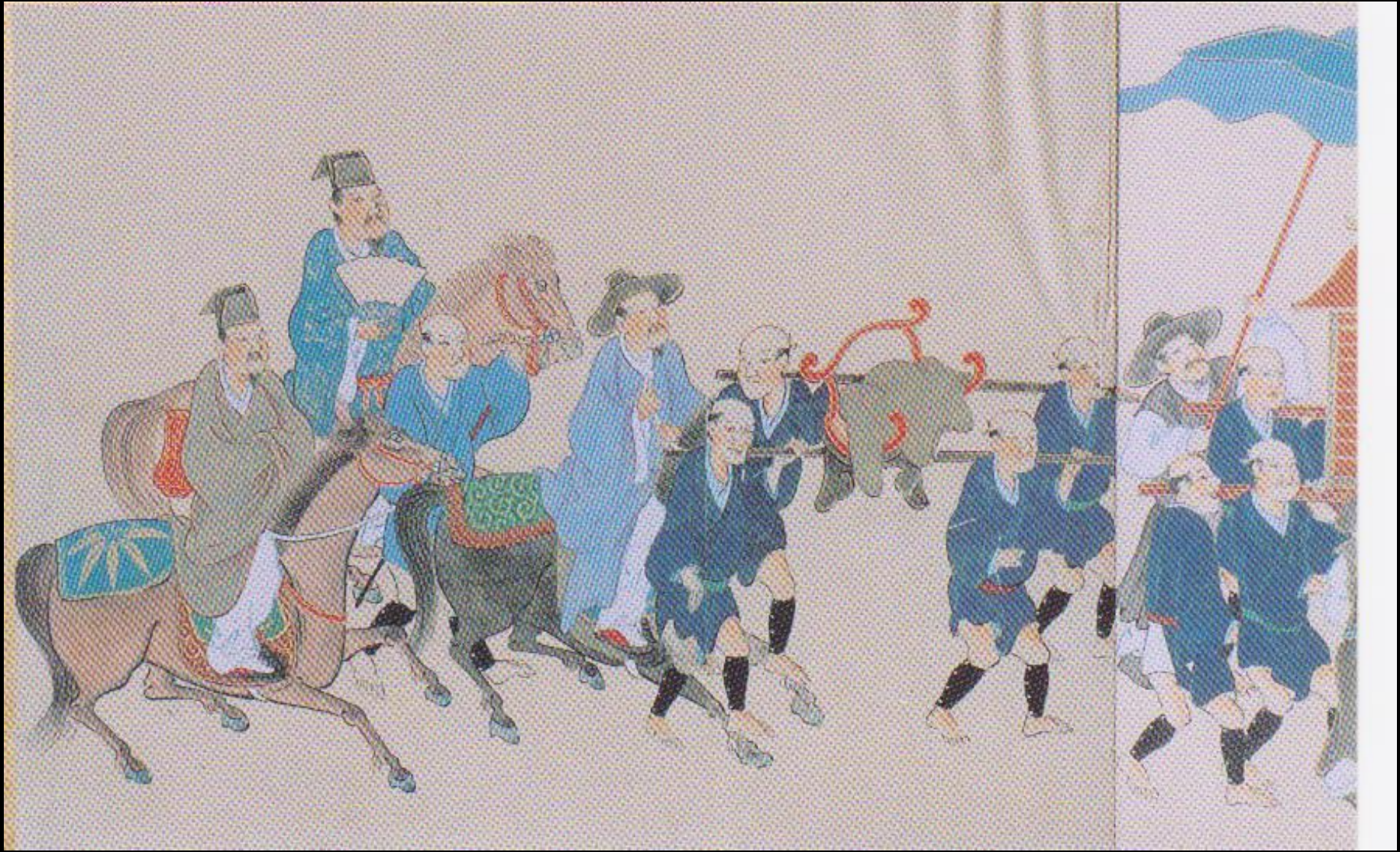




















手に持せしは尺ゆ
とすち 三羽んや
波町の指南車ハ

磁石の磁もてが角
と知るかろくも世

唐の黃帝 悪人ヲ

災をよとせんとして

軍をよとせんとして

聖賢をよとせんとして

及ぶとせんとして

これとせんとして

は格をよとせんとして

時夷國の使者の

及ぶとせんとして

大高茶屋の

とんちんちん

朝鮮人

末朝の

宿入の樂
とんちんちん

茶屋

十六日
けいこ
足楯

此の町はけいこの
様にする町とし
て今日まで
物多りて九合に
京町通り一町
毎にけいこの
茶の町を
おのけいこの
物多りて西のけいこ
茶の町を
花屋の町を

茶屋



勝野後集
足楯

いづれ
成蘭

茶



伊勢町

泰官子供三人



茶々町

唐人十八人

六



茶々町

伊藤呉服店行列

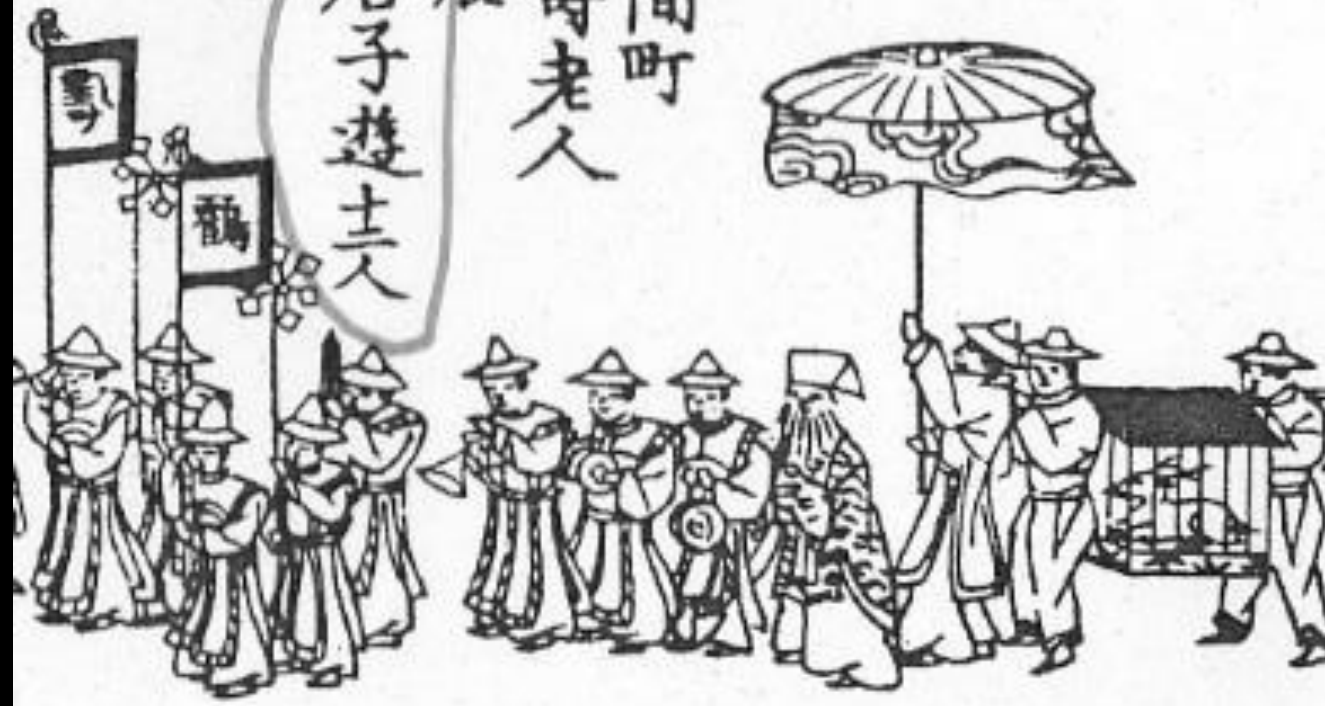


上七間町

壽老人

鹿

唐子遊士人





淀町

指南車
七人



関鍛冶町

唐子十六

関鍛冶町



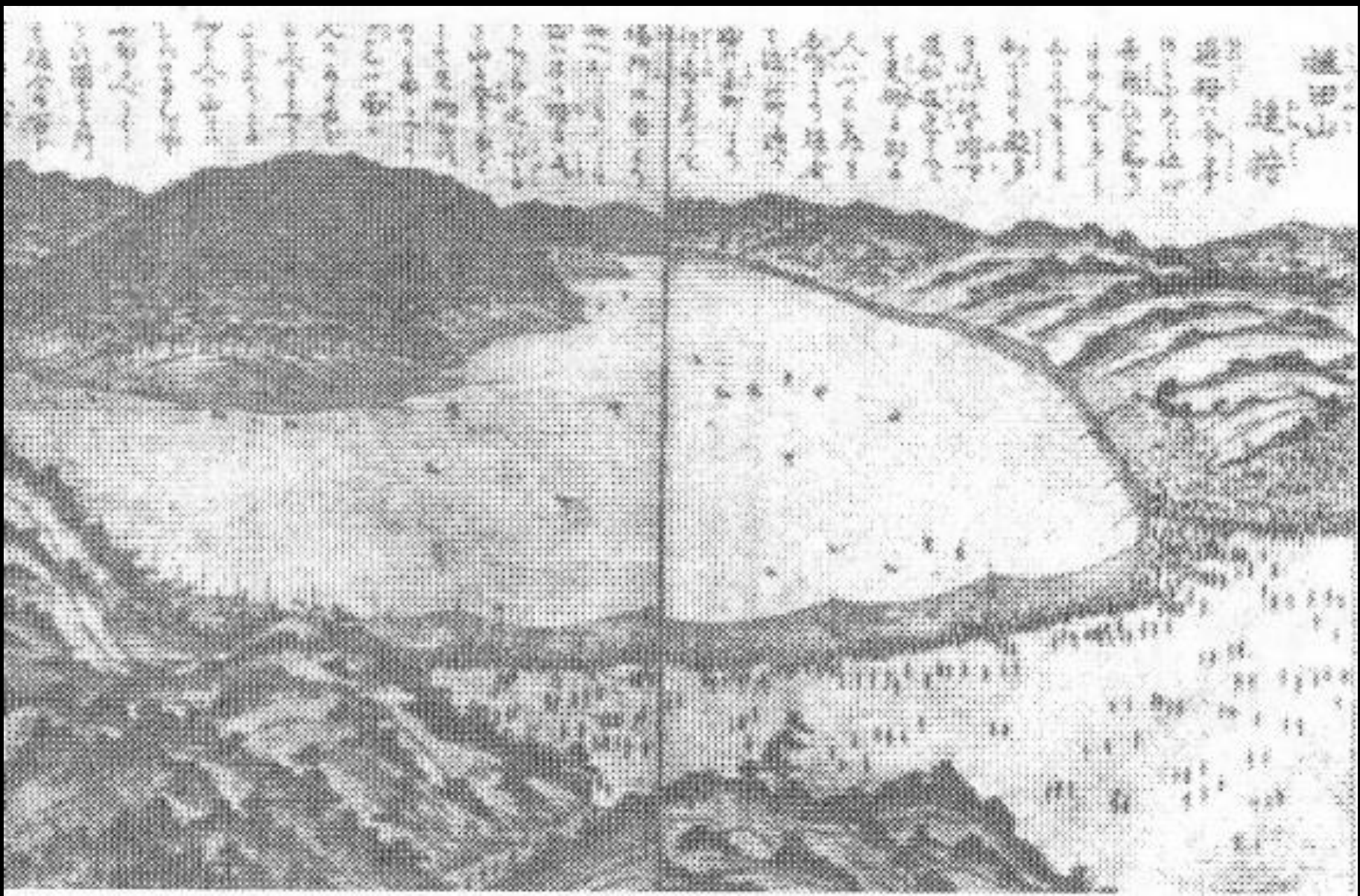
桶屋町

唐子遊八人



宮町
唐子遊車





2017.12.11

朝鮮通信使記録 名古屋に

「世界の記憶」蓬左文庫4件所蔵



朝鮮国王が1607年から約200年にわたり日本に派遣した朝鮮通信使の記録が今秋、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の「世界の記憶」に登録された。日韓で計111件の登録資料のうち48件が日本にあり、そこには名古屋市蓬左文庫（東区徳川町）が所蔵する文書2件と絵図2件

朝鮮人物旗仗轎輿之図（部分）
 名古屋市蓬左文庫所蔵